

令和3年1月21日	
所 属	中消防署
担当者	本荘 芳成
電 話	06-6401-0119

第67回文化財防火デー消防総合訓練を実施します

1 目 的

尼崎市消防局は、先人が残したかけがえのない市民共有の文化財を災害から守るため、消防訓練を通じて広く市民に文化財に対する関心を高めてもらい、火災予防の徹底を図ることを目的に実施します。

本市の過去と現在の営みを後世に伝え、未来の検証にゆだねる役割をもつ、リニューアル工事を終え、新たに生まれ変わり、昨年10月10日に開館した尼崎市立歴史博物館で行います。

2 日 時

令和3年1月26日（火）午前9時00分から10時00分（小雨決行）

3 場 所

尼崎市南城内10番地の2 尼崎市立歴史博物館

4 訓練想定

令和3年1月26日（火）午前9時00分ごろ、紀伊半島沖及び四国沖の海底を震源とするマグニチュード9.1の海溝型地震が発生し、本市においては震度6強を観測、瀬戸内海沿岸に大津波警報が発表され、尼崎市立歴史博物館3階地域研究史料室から火災が発生し、延焼拡大中である。

5 参加機関

(1) 尼崎市消防局	5台16名
(2) 尼崎市消防団	2台 8名
(3) 兵庫県尼崎南警察署	2台 3名
(4) 尼崎市立歴史博物館	10名
合 計	9台37名

以 上

第67回文化財防火デー消防総合訓練実施計画書

1 目的

先人が残したかけがえのない市民共有の文化財を災害から守るため、消防訓練を通じ広く市民に文化財に対する関心を高めてもらい、火災予防の徹底を図ることを目的とする。

2 日時

令和3年1月26日（火）9時00分から10時00分まで（小雨決行）

3 場所

尼崎市南城内10番地の2 尼崎市立歴史博物館

4 訓練想定

令和3年1月26日（火）午前9時00分ごろ、紀伊半島沖及び四国沖の海底を震源とするマグニチュード9.1の海溝型地震が発生し、本市においては震度6強を観測、瀬戸内海沿岸に大津波警報が発表され、尼崎市立歴史博物館3階地域研究史料室から火災が発生し、延焼拡大中である。

5 参加機関

- | | |
|--------------------|---------------------------------------|
| (1) 尼崎市消防局 | 5台16名 |
| ア 消防局 | |
| 尼消1 | |
| イ 中消防署 | |
| 中1、中3、中4、中9（代替救急車） | |
| (2) 尼崎市消防団 | 2台 8名「水上分団（1台3名）・城内分団（1台3名）・大物分団（2名）」 |
| (3) 兵庫県尼崎南警察署 | 2台 3名 |
| (4) 尼崎市立歴史博物館 | 10名 |
| 合計 | 9台37名 |

6 訓練項目

- (1) 自衛消防隊による消防訓練
 - ア シェイクアウト訓練
 - イ 通報訓練
 - ウ 避難誘導訓練及び重要物品搬出訓練

- エ 初期消火訓練（消火器・屋内消火栓）
- オ 救護訓練
- (2) 警察による訓練
 - ア 交通規制訓練及び警戒区域設定訓練
 - イ 救護訓練
- (3) 消防による消防訓練
 - ア 現場指揮所開設訓練
 - イ 救急救護訓練
 - ウ 一斉放水訓練

7 訓練指揮者等

- (1) 尼崎市消防局
 - 訓練本部長 消防局長
 - 訓練副本部長 消防局次長
 - 訓練統括指揮者 中消防署長
 - 訓練統括副指揮者 中消防署副署長
 - 安全責任者 中消防署三和分署長
 - 訓練進行担当 中消防署第2消防担当係長
- (2) 尼崎市消防団
 - 指揮者 消防団長
 - 副指揮者 消防団副団長（中央地区）
- (3) 兵庫県尼崎南警察署
 - 指揮者 兵庫県尼崎南警察署長
- (4) 尼崎市立歴史博物館
 - 指揮者 尼崎市立歴史博物館館長

8 講評等

- (1) 講 評 消防局長
- (2) あいさつ 消防団長
- (3) あいさつ 尼崎市立歴史博物館館長

9 その他

- (1) 訓練実施要領については、別添「第67回文化財防火デー消防総合訓練実施要領」のとおり。
- (2) 天候不良及び災害対応等による訓練の中止は、当日朝7時に決定する。

以 上